

平成22年度第1回津市入札等監視委員会の会議結果報告

- ① 会議名 平成22年度第1回津市入札等監視委員会
- ② 開催日時 平成22年5月7日(金)午後2時00分から3時30分まで
- ③ 開催場所 津市庁舎4階庁議室
- ④ 出席した者の氏名
月岡 存 委員長 (三重大学名誉教授)
伊藤 庄吉 委員 (行政書士)
滝澤 多佳子 委員 (税理士)
西川 源誌 委員 (弁護士)
玉方 良明 委員 (公認会計士)
事務局 副市長、調達契約課長ほか2人
- ⑤ 内容 1 入札・契約に関する報告について
(1) 入札及び契約手続の運用状況
(2) 指名停止措置等の運用状況
2 入札等監視業務について
(1) 入札・契約抽出事案の審議
- ⑥ 公開又は非公開
公開
- ⑦ 傍聴者の数 0人
- ⑧ 担当 総務部調達契約課工事契約担当
電話番号 059-229-3122

・議事の内容 下記のとおり

1 入札・契約に関する報告について

(1) 入札及び契約手続の運用状況

Q 災害復旧工事については、他の入札と比較すると参加者が少ないように見受けられますが？

A 美杉、白山地区等については、業者数も限られているため参加数も少ない傾向があります。また、工事場所までが遠い、工事が小規模で請負金額が低い等の影響もあるのではと考えます。

Q 災害復旧工事については、地域限定の発注であったということでしょうか？

A 昨年度の台風18号の被害による災害復旧工事については、地域要件型の制度による発注を行いました。

Q 参加可能業者数と比較すると応札者が少なく、落札金額も高止まりの傾向があるのではないのでしょうか？

A 入札結果を見ますと、特に山間部等の案件では落札金額も高止まりの傾向は見受けられるものの、災害復旧工事については極めて地域特性が強く、手間もかかる上、工期も限られているため、こういった入札結果になったものと考えます。

Q 地元精通したの方が施工はスムーズであろうということは理解で

きますが、公共工事が減少する中、発注件数は多く、他地域との不公平感があるのではないのでしょうか？

A 台風18号による被害箇所は津市内全域にわたっていますが、そのほとんどは美杉地区、一志地区、白山地区の農地や林道でした。

このことから、過去にもあまり事例のない多くの災害復旧工事を行うにあたり、工期と共に、その地域の地理的条件の熟知や地域実情への十分な配慮が特に必要とされることから、地元の協力なしには災害復旧工事は困難であると考え、地域要件型の制度による発注を行いました。

Q 災害復旧工事の中には落札率100%のものもありますが？

A 予定価格の範囲内であれば、結果として落札率が100%となることもあり得ます。

(2) 指名停止措置等の運用状況

Q 特になし

2 入札等監視業務について

入札・契約抽出事案の審議

(1) 平成21年度下建都補第3号

栗真町屋都市下水路（第一雨水幹線）築造工事に伴う仮設道路撤去工事
<事後審査型条件付一般競争入札（工事）>

Q 技術者要件における、「本市発注工事における専任配置」については、契約締結時には当然確認が行われていることと思いますが、その後の追跡確認は行われているのでしょうか？

A 津市発注の調達契約課又は水道局発注工事については、契約締結後も技術者の重複がないか確認を行っています。

Q 本市発注工事における専任配置ということは、例えば建設業法に規定する2,500万円以下の工事であれば、県発注の工事の技術者と重複することもあり得るといえるのでしょうか？

A 本市発注工事以外の県等の発注工事であればあり得ます。

Q 工事名が仮設道路撤去工事となっていますが、具体的にどんな内容なのでしょう？

A 下水道工事を行うにあたり、迂回路として三重大学の敷地内に仮設道路を敷設していたため、下水道工事が完了後に仮設道路を撤去し、柵等を現状復帰するといった内容です。

Q 入札額は各者とも、1,400万円前後に集中し、数千円の差で落札者が決定していますが、土木一式の入札においてはこういった傾向があるのでしょうか？

A 昨年10月15日以降の公告分から、最低制限価格の設定については、公開している算式を基本とし、必要と認められる場合は、工事及び業務の技術上の難易その他の条件を考慮して、増減調整できるものとししました。そのため、各者とも算式を基本とし、工事の難易等を考慮し入札金額を決定しているのではないかと推測します。

* 本件については適正に処理されているものと認める。

(2) 平成21年度南河災補第12号

普通河川老ヶ野川災害復旧工事

<事後審査型条件付一般競争入札（工事）>

Q 通常の工事においては、技術者は「本市発注工事等における専任配置」としていますが、災害工事においては、「配置技術者については、2,500万円未満の本市発注の災害復旧工事に限り、1人の技術者が他の災害復旧工事と兼務できる件数は最大3件までとします。」とした理由は？

A 今回の災害復旧工事については、災害地域が集中している上、件数も多数です。このことを踏まえ、できる限りの早期復旧を目指し、工事箇所も近接しているものが多いことから、今回の災害復旧工事に限り配置技術者の取り扱いを変更しました。

Q 入札結果をみると応札者が3者と少ないですが、業者からみると工事そのものに魅力が少なかったのでしょうか？

A 災害復旧工事は、工事場所が業者から遠い山間部の奥地であるとか、重機等が使用できずに人的作業が多い場合もあります。そのため、応札者は少ない傾向が見受けられ、特に小額なものについてはその傾向が顕著です。

Q そういった特殊な事情があるのであれば、特に設計金額を上げる等の措置がとれなかったのでしょうか？

A 災害復旧工事については、国の査定を受け、国庫補助を受けていることもあり、特殊事情を勘案して特に設計金額を高くすることは難しいと考えます。

Q 入札書に商号の記載が無いため無効となった応札者がありますが、こういった事例は他にもあるのでしょうか？

また、今後こういった入札に注意喚起を促すために、応札者に連絡等は行っているのでしょうか？

A 商号、代表者氏名、押印漏れ等での無効事例は散見されます。

また、注意喚起については、入札結果がホームページで公開されますので、無効事由についても確認ができます。

Q 災害工事の特殊性や緊急性、地域性は理解できますが、片田町等の津市の中心部に近い災害復旧工事案件においては応札者も多く、落札率も高止まりにはなっていないようです。

質問としてではなく、意見としてなのですが、地域要件型の制度による発注が高止まりの原因になったのであれば、あえて地域要件型の発注を行わなくても、工事場所から遠い業者は元々、経済合理性から参加を見合わせるのではないのでしょうか？

A 一概には言えませんが、津市の中心部に近い災害復旧工事については、山間部の災害復旧工事と比較すると、相対的な難易度は低いと思いますし件数も多くありませんでした。

今回の災害復旧工事は例外的な取り扱いであるため、発注するにあたり、様々な方法を検討しましたが、地元建設業者との協力体制を築くことは、今後の災害時における迅速な被災状況の把握や円滑かつ的確な災

害対応を図るために不可欠と考え、地域要件型の発注による発注を行いました。

しかしながら、この入札結果や委員の御意見も踏まえ、今後の災害復旧工事の発注方法を研究、検討してまいりたいと思います。

* 本件については一部今後に検討いただくもののそれ以外は概ね適正に処理されているものと認める。

(3) 平成21年度環新道新第1-16号

白口町屋小津線用地測量業務委託

<事後審査型条件付一般競争入札(委託)>

Q 最低制限価格未満の失格者が23者の応札者中11者と、約半数ですが、多いのではないのでしょうか?

A 昨年度の最低制限価格見直し以降、算式に加え、「業務の技術上の難易その他の条件を考慮して、増減調整できるもの」としたことによる影響と考えますが、応札者の積算額と最低制限価格の差が大きいと最低制限価格を下回る者も多く出ることとなります。

Q 本件は、所在地要件を市内本店としていますが、特別な案件以外は市内本店業者に限定した発注を行っているのでしょうか?

A 市内本店業者で施工、委託が可能で、かつ競争性が確保できるのであれば、市内本店業者に限定した発注を行っています。

* 本件については適正に処理されているものと認める。

(4) 平成21年度林振災補第2号

林道宇都野線激災復旧工事

<随意契約>

Q 本件は、林道の災害復旧工事であり、業者にとって魅力の少ない工事であったのか、落札率が99.84%と、ほぼ100%の極めて高い率ですが、この結果をどうお考えでしょうか?

A 本件は、事後審査型一般競争入札として平成22年1月12日公告を行い、1月27日開札で発注したものの応札者がありませんでした。

契約にあたっては、落札価格も重要であると認識しておりますが、当該工事は、県単林道補助金(林道激災復旧事業補助金)の採択を受けており年度繰越が不可能なことから、工期内に確実に施工が行われることを考慮し、当該路線の開設工事を請け負い、現場に精通し、施工箇所から最も近接の業者である(有)中川組と地方自治法施行令第167条の2第1項第8号による随意契約を行ったものであり、速やかに復旧を行うことが最も重要であると考えました。

Q 工事概要におけるフトン籠とは、どういったものなののでしょうか?

A 鉄線等による金網で立方体等の籠を作り、その中に割石等を充填したもので、屈撓性に富む、透水性に優れている、緩衝性がある等の利点を生かし、河川の法覆工、道路工事、港湾工事等の多くの土木工事に使用されています。

Q 平成22年1月12日公告の事後審査型一般競争入札において応札がなかった理由はどういったものが考えられますか?

- A あくまで推測なのですが、災害復旧工事に限り配置技術者の取り扱いを変更したのは2月1日公告以降からであることに加え、本工事は山間部の奥地の林道であり、現場状況や金額等の理由から応札者が無かったのではないかと考えられます。
- Q このような応札者が無かった場合の1者随意契約を行う際には、どのように行っているのでしょうか？
- A 現場に精通し、施工箇所から近接している等の選定理由に基づき、最優先者に対して見積提出依頼を行っています。
- Q 平成22年1月12日公告の事後審査型一般競争入札時と1者随意契約時では、工事概要等の条件に変更はなかったのでしょうか？
- A 本件は、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号によるいわゆる不落随契と呼ばれるものですが、同条第2項の規定により「前項第8号の規定により随意契約による場合は、契約保証金及び履行期限を除くほか、最初競争入札に付するときに定めた予定価格その他の条件を変更することができない。」とされていますため、工期以外の条件の変更は行っていません。
- * 本件については適正に処理されているものと認める。

事後審査型条件付一般競争入札

1

公 告 日	平成21年11月30日	工 事 担 当 課	下水道建設課	
工 事 名	平成21年度下建都補第3号 栗真町屋都市下水路（第一雨水幹線）築造工事に伴う仮設道路撤去工事			
工 事 場 所	津市 栗真町屋町 地内			
工 事 概 要	柵工(1200) 130m 側溝工(U型300~450) 154m 集水桝工(500) 5箇所 管渠工(リブ付硬質塩化ビニル管管径200~450mm) 43m 表層 660m ²			
工 期	契約締結の日から 平成22年3月12日 まで			
発注業種	土木一式			
参加資格に関する事項	建設業許可	特定・一般		
	所在地要件	市内本店		
	格付要件	あり		
	地域・格付要件	【ブロック】津・香良洲	【地区】津・香良洲	【格付】C
		【ブロック】	【地区】	【格付】
		【ブロック】	【地区】	【格付】
		【ブロック】	【地区】	【格付】
	同種工事実績要件			
技術者要件	主任(監理)技術者	同業種の技術者(実務経験)以上の者(本市発注工事における専任配置)		
	現場代理人	常駐配置(主任技術者と兼務可)		
その他要件				
設計図書の閲覧	閲覧期間	本公告の日から 平成21年12月18日 まで		
	閲覧場所	調達契約課・津北工事事務所・津南工事事務所		
設計図書の購入	購入期間	本公告の日から 平成21年12月18日 まで		
	販売店	(有)オグラ 津市垂水2870-20 059-228-9811		
設計図書等に関する質問	提出期限	平成21年12月8日 午後5時 まで		
	回答日	平成21年12月15日 ホームページにて回答		
	提出先	調達契約課工事契約担当(津市役所本庁舎7階) F A X 059 - 229 - 3333		
入札方法等	入札方法	郵便入札(一般書留・簡易書留に限る)		
	提出期限	平成21年12月18日 必着		
	郵送先	〒514-8799 郵便事業(株)津支店 留 津市役所 調達契約課 宛		
開札日時及び場所	平成21年12月22日 午前11時20分 津市役所(本庁舎)7階 入札室			
予定価格	17,202,000 円 (税抜き)			
最低制限価格	有			
入札保証金	免除			
契約保証金	契約金額の100分の10以上			
前金払	有			
部分払	無			
その他	・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。 本市発注工事とは調達契約課又は水道局発注工事で、担当課執行分を除く。			

予 定 価 格	17,202,000	円
落 札 価 格	14,002,000	円
最低制限価格	13,994,000	円
落 札 率	81.40	%

すべて税抜き

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

順位	入 札 者	入札金額	備考
1	(有)八景造園	13,933,000	失格(最低制限価格未滿)
2	(有)克工務店	13,972,000	失格(最低制限価格未滿)
3	中村造園(有)	13,982,000	失格(最低制限価格未滿)
4	中部産業(株)	13,991,000	失格(最低制限価格未滿)
5	シヴィル建設(株)	14,002,000	落札決定(くじ引きによる)
6	(株)津建材	14,002,000	
7	カネナカ建設(株)	14,006,000	
8	(株)エヌ・エス・アイ	14,016,000	
9	(有)ヤマト産業	14,060,000	
10	(有)ケ・・アンド・ケ・ホ・ムズ	14,080,000	
11	足尾造園土木(株)	14,167,000	
12	(有)ヨシダ	14,200,000	
13	(株)金谷組	14,214,000	
14	(有)尾鈴組	14,216,000	
15	(有)奥山組	14,231,000	
16	(株)ニ - ズ	14,235,000	
17	(有)ライズ	14,240,000	
18	(株)ティー・エス・ケー	14,475,000	
19	(株)西出	14,478,000	
20			

事後審査型条件付一般競争入札

2

公 告 日	平成22年3月15日	工 事 担 当 課	津南工事事務所	
工 事 名	平成21年度南河災補第12号 普通河川老ヶ野川災害復旧工事			
工 事 場 所	津市 美杉町八知	地内		
工 事 概 要	補助対象工事 市単独工事 普通河川老ヶ野川(国災第251号) ガードレール部材設置撤去工 4m コンクリートブロック工 24m2 普通河川老ヶ野川(国災第252号) コンクリートブロック工 77m2			
工 期	契約締結の日から 平成22年6月28日 まで			
発 注 業 種	土木一式			
参 加 資 格 に 関 する 事 項	建設業許可	特定・一般		
	所在地要件	市内本店		
	格付要件	あり		
	地 域 ・ 格 付 要 件	【ブロック】久居	【地区】美杉	【格付】D・C・B・A2・A1
		【ブロック】	【地区】	【格付】
		【ブロック】	【地区】	【格付】
		【ブロック】	【地区】	【格付】
	同 種 工 事 実 績 要 件			
技 術 者 要 件	主任(監理)技術者	同業種の技術者(実務経験)以上の者		
	現場代理人	主任技術者と兼務可		
その他要件				
設 計 図 書 の 閲 覧	閲 覧 期 間	本公告の日から 平成22年3月26日 まで		
	閲 覧 場 所	調達契約課・津北工事事務所・津南工事事務所		
設 計 図 書 の 購 入	購 入 期 間	本公告の日から 平成22年3月26日 まで		
	販 売 店	アサヒ感光社 津市半田141 059-226-5214		
設 計 図 書 等 に 関 する 質 問	提 出 期 限	平成22年3月18日 午後5時 まで		
	回 答 日	平成22年3月23日 ホームページにて回答		
	提 出 先	調達契約課工事契約担当(津市役所本庁舎7階) F A X 059 - 229 - 3333		
入 札 方 法 等	入 札 方 法	郵便入札(一般書留・簡易書留に限る)		
	提 出 期 限	平成22年3月26日 必着		
	郵 送 先	〒514-8799 郵便事業(株)津支店 留 津市役所 調達契約課 宛		
開 札 日 時 及 び 場 所	平成22年3月31日 午前11時40分 津市役所(本庁舎)7階 入札室			
予 定 価 格	7,358,000 円 (税抜き)			
最 低 制 限 価 格	有			
入 札 保 証 金	免除			
契 約 保 証 金	契約金額の100分の10以上			
前 金 払	有			
部 分 払	無			
そ の 他	<p>・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。</p> <p>配置技術者については、2,500万円未満の本市発注の災害復旧工事に限り、1人の技術者が他の災害復旧工事と兼務できる件数を最大3件までとします。</p> <p>本市発注工事とは調達契約課又は水道局発注工事で、担当課執行分を除く。</p>			

予 定 価 格	7,358,000	円
落 札 価 格	7,000,000	円
最低制限価格	5,987,000	円
落 札 率	すべて税抜き 95.13	%

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

順位	入 札 者	入札金額	備考
1	勢和建设(株)	7,000,000	落札決定
2	(有)真栄	7,150,000	
3	清水造園	無効	入札書商号記載なし
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

公 告 日	平成22年1月12日	業 務 担 当 課	新最終処分場建設推進課
業 務 名	平成21年度環新道新第1-16号 白口町屋小津線用地測量業務委託		
業 務 場 所	津市 美杉町上多気及び美杉町下多気	地内	
業 務 概 要	用地測量 4ha		
期 間	契約締結の日から 平成22年3月26日 まで		
発 注 業 種	測量		
参 加 資 格 に 関 する 事 項	登録要件	業 種	測量
		部 門	測量一般
		測量法（昭和24年法律第188号）第55条第1項の規定による登録を受けていること	
	所在地要件	市内本店	
	当該部門 における 営業収入 金額要件		
	同種業務 実績要件		
	技術者要件	主任技術者	測量士（本市発注業務における専任配置）
その他要件	平成21年度格付区分等業者一覧（測量一般）に登載されていること		
設 計 図 書 の 閲 覧	閲 覧 期 間	本公告の日から 平成22年1月22日 まで	
	閲 覧 場 所	調達契約課・津北工事事務所・津南工事事務所	
設 計 図 書 の 購 入	購 入 期 間	本公告の日から 平成22年1月22日 まで	
	販 売 店	アサヒ感光社 津市半田141 059-226-5214	
設 計 図 書 等 に 関 する 質 問	提 出 期 限	平成22年1月15日 午後5時 まで	
	回 答 日	平成22年1月19日 ホームページにて回答	
	提 出 先	調達契約課工事契約担当（津市役所本庁舎7階） F A X 059 - 229 - 3333	
入 札 方 法 等	入 札 方 法	郵便入札（一般書留・簡易書留に限る）	
	提 出 期 限	平成22年1月22日 必着	
	郵 送 先	〒514-8799 郵便事業（株）津支店 留 津市役所 調達契約課 宛	
開 札 日 時 及 び 場 所	平成22年1月27日 午前9時00分 津市役所（本庁舎）7階 入札室		
予 定 価 格	9,216,000 円 （税抜き）		
最 低 制 限 価 格	有		
入 札 保 証 金	免除		
契 約 保 証 金	契約金額の100分の10以上		
前 金 払	有		
部 分 払	無		
そ の 他	・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。 本市発注業務とは調達契約課又は水道局発注業務で、担当課執行分を除く。		

予 定 価 格	9,216,000	円
落 札 価 格	6,660,000	円
最低制限価格	6,660,000	円
落 札 率	すべて税抜き 72.27	%

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

順位	入 札 者	入札金額	備考
1	正和測量設計(株)	6,609,000	失格(最低制限価格未滿)
2	(有)三濃測量設計	6,640,000	失格(最低制限価格未滿)
3	新三重技術開発(株)	6,650,000	失格(最低制限価格未滿)
4	(株)三重新成コンサルタント	6,654,000	失格(最低制限価格未滿)
5	(株)三洋開発	6,655,000	失格(最低制限価格未滿)
6	南海カツマ(株)	6,658,000	失格(最低制限価格未滿)
7	(株)若鈴	6,658,000	失格(最低制限価格未滿)
8	(有)ナカムラ測量設計	6,658,000	失格(最低制限価格未滿)
9	(株)志登茂コンサルタント	6,659,000	失格(最低制限価格未滿)
10	(株)信榮企画	6,659,000	失格(最低制限価格未滿)
11	杉山コンサルタンツ(株)	6,659,000	失格(最低制限価格未滿)
12	(有)山川測量設計	6,660,000	落札決定(くじ引きによる)
13	イチシ測量設計(株)	6,660,000	
14	(有)テクノスリー	6,660,000	
15	刀根測量設計事務所	6,661,000	
16	(株)三重中央コンサルタント	6,663,000	
17	(有)東海プロジェクト	6,665,000	
18	(有)三重シビルシステム	6,666,000	
19	(有)左近測地	6,667,000	
20	(株)東海測量設計	6,682,000	
21	(株)東光測量設計事務所	6,700,000	
22	(有)アルファプラン	6,700,000	
23	(有)藤川測量設計事務所	6,741,000	
24			
25			

件名	平成21年度林振災補第2号 林道宇都野線激災復旧工事
見積者	(有)中川組
業種	土木一式
施工場所	美杉町下之川 地内
工期	平成22年3月26日
工事概要	第1号箇所 擁壁工 コンクリートブロック積工 12.2m ² フトン籠 101.0m 排水工 コルゲート管 600 8.0m 第2号箇所 法面工 植生基材吹付工 33.6m ² 柵工 木柵工 5.0m 第3号箇所 法面工 植生基材吹付工 54.8m ² 第4号箇所 法面工 植生基材吹付工 30.9m ²
契約方法	随意契約
見積日時	平成22年2月15日 午前10時00分
随意契約理由	当該工事は、台風18号の被害による林道復旧工事であり、平成22年1月27日開札の一般競争入札において応札がなく、県単林道補助金(林道激災復旧事業補助金)の採択を受けた本件は年度繰越が不可能なことから、工期内に確実に施工が行われることを考慮し、当該路線の開設工事を請け負い、現場に精通し、施工箇所から最も近接の業者である当該業者と地方自治法施行令第167条の2第1項第8号による随意契約。

予定価格 3,045,000 円
 落札価格 3,040,000 円
 最低制限価格 - 円

すべて税抜き

比率 99.84 %

下記見積金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

者数	見積者	第1回	第2回	第3回	備考
1	(有)中川組	3,040,000			決定